

第2回震災復興支援ボランティア：陸前高田市

2011年10月1日(土)～2日(日)

活動レポート

i.JTB労働組合 松西 春聡

JTB GROUP WORKER'S UNIONS



宮城県石巻市で行ったボランティアに続いて2回目のボランティアでした。石巻のときの作業は海岸線よりも少し内陸寄りで行い、帰りに海沿い等をバスで走りましたが、まだ海沿いの建物も残っていました。ただ、今回の陸前高田は違いました。市役所等があった中心地は海に近く、ほぼ何も残っていない。有名になった奇跡の一本松が目立つ。改めて震災と津波の恐ろしさを感じました。それが今回のボランティアで一番印象に残ったことです。



奇跡の一本松



バスから見た陸前高田市の風景

初日の作業は側溝に溜まったドロかきや瓦礫集め。ガラスの破片や家の瓦がたくさん散乱していました。たくさん家が津波によって流されたことが想像できました。



作業の様子



集めた瓦礫など

作業終了後、震災後からそのままの状態にしているという市役所や体育館を案内してもらいました。陸前高田の悲惨なところは避難所と指定されていた箇所が津波の被害を受けたというところと聞きました。実際に状況を見てみてまさにその通りだと思いました。



体育館、ここも避難所となっていたとのこと



体育館内の様子



体育館内の時計。おそらくこの時間に津波が来たと思われる



体育館脇にあった階段の手すり。
触ってみたが、人間の力ではこんな形にはどうやってもならない。

二日目は津波で流された小さな山（丘）での作業。そこもガラスの破片
等が散乱していた。高い木の上にゴミが乗っていて、津波の高さが分かっ
た。



二日目の作業の様子

以上